

## 県外派遣報告書

審判員名	正木 あずさ	所属	クラブ連盟
大会名	第23回関東クラブバスケットボール選抜大会兼審判講習会		
期間	平成29年9月9日～10日		
会場	群馬県・高崎アリーナ、浜川体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
9月9日(土)	講義	高崎アリーナ	
	実技講習	高崎アリーナ・浜川体育館	
9月10日(日)	実技講習	高崎アリーナ	
講義			
<p>全10名の講師から受講生に伝えたいこととして講義をしていただいた。          ニューリードには早く入ること、バスケットを勉強すること、プレゼンテーションが重要になっていることや、チャレンジすること、失敗を恐れないことなど、必要なメカニックの他にも審判としての姿勢などを講義していただきました。</p>			
実技			
担当試合	期 日	9月9日(土)	女子 2回戦
	対戦カード	SWEET☆S(千葉県) VS 甲府レジスタンス(山梨)	副審
	相手審判	主審 尾花 幸雄 氏(茨城県)	
ミーティング内容		主任 久保あしみ氏、青木太一氏	
<p>・リードで右に行く必要があったプレーがあったが、対応できていないことが多かった          ・out side inやcross stepをもって意識して取り組むこと          ・boxing inが重要というふうに言われているのは、次のプレーを予測することが重要ということなので、トレイルのときは次のプレーを見られる場所を探すこと</p>			
実技			
担当試合	期 日	9月10日(日)	女子 女子準決勝
	対戦カード	SHINKO STARS(東京) VS アステム湘南Linoah(神奈川)	副審
	相手審判	主審 森下 佑介 氏(茨城県)	
ミーティング内容		主任 久保あしみ氏、四方田麻菜美氏	
<p>・リードで右に行くことをためらっていたことがあったので、気になるプレーがあったら右に行くことを増やす必要がある          ・試合のある一定の時間、触ったらファウルになってしまっていることがあったため、本当にファウルを吹く必要があるのかどうかを見極めることが必要だった</p>			
全体の感想			
<p>リードで右に行く必要があるプレーを見極めるということを反省で指導していただき、実際に自分でも試合中に行く必要があった・なかったをプレーが終わってから感じるが多かったため、その試合の選手の特徴やプレーの特徴を分かっていることが原因だと感じました。また、取り上げたものに関しての正確さがなければ選手・ベンチには納得してもらえないのは当然で、今回の講習を終えて、どうしてそのプレーがファウルになるのか、ファウルやヴァイオレーションはどういう時に成立するのかをもう一度確認する必要があると感じました。</p> <p>最後に、今回の大会を通じて群馬県の皆様には細部にわたり配慮をしていただき、試合に集中して臨むことができました。開催前からたくさん準備をしていただきましたことに感謝申し上げます。また、今大会に派遣していただいた埼玉県協会の皆様にも重ねてお礼申し上げます。いただいたチャンスを経験に変え、精進して参ります。今後ともご指導お願い申し上げます。</p>			